

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 東光寺

作成日: 令和 2 年 1 月 23 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	町内会会長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て、アドバイスや情報提供を受けているが、ホームからの報告が主になっているため、参加委員の増員と内容の見直しに向けて取り組んでいく。	公民館館長、老人会会長、出入りの薬剤師や歯科衛生士、近隣のグループホームの管理者等、参加委員を増やすことと、専門職によるミニ勉強会やレクリエーション体験、試食会等、テーマを決めて行う等、充実した会議運営を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回、1階のデイサービスと合同で避難訓練を実施しているが、夜間帯は夜勤者が1名であること、ホームが2階にあることから、夜間想定避難訓練をホーム独自で繰り返し行っていく。	職員が利用者役になり、職員同士で行う夜間想定訓練を頻繁に行うことで、夜勤者全員が実際に体験し、体で覚え、いざというときに慌てずに利用者を誘導できる体制に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。